



【はじめに】

令和6年4月18日（木）に、小学校6年生と中学校3年生を対象に、全国学力・学習状況調査が行われました。この調査は義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る目的があります。また、学校においても、児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善に役立てる目的があります。そこで、以下にその結果をご報告し、改善に向けて今後の方向性を示すことができたらと思います。なお、今回お知らせする結果は、学力や学習状況の一部であり、子どもたちの学力や学習状況、学校の教育活動などのすべてを表すものではありません。

【学力調査の結果より】

1. 国語から分かった本校の成果と課題 ○成果 ▲課題

○学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う。

▲目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝えたいことを明確にすることができる。

▲文の中における主語と述語との関係をとらえることができる。

【今後の改善事項】

☆どこが大事なところかを考えながら、複数の資料から読み取る力を養う。

☆国語科の教科以外においても、主語と述語の関係を意識しながら文の内容を読み取る力を養う。

2. 算数から分かった本校の成果と課題 ○成果 ▲課題

○速さが一定であることをもとに、道のりと時間の関係について考察できる。

○直方体の見取り図について理解し、かくことができる。

▲問題場面の数量関係をとらえ、式に表すことができる。

▲道のりが等しい場合の速さについて、時間をもとに判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できる。

【今後の改善事項】

☆授業において複数の数量関係から、法則性や示されたデータなどの情報をもとにして、条件に合わせて自分の考えを書く力を養う。

3. 課題克服のために

① 確かな学力の向上

学習の「ふりかえり」についてパターン化をすすめ、授業実践を行っています。今年度内も「ふりかえり」について修正を加えながら、各学年共通の取り組みを通して、児童自らが学習を振り返り、次時に向けての意欲を高め、確かな学力の向上をめざしています。

② 授業改善

一部教科担任制や交換授業を積極的に行うことで、系統的な学びを構築し、教科の専門性を高めるように工夫して取り組んでいます。校内で各教科等の指導方法を研究し、共有する機会を定期的にもち、学校として広幅化し連続性をもって取り組んでいます。また、「子どもが主体的になり、学びを深める授業づくり」に重点をおき、学習した結果として知識・技能を習得できるような授業づくりをめざして取り組んでいます。「西浦小 授業改善スタンダード」・「学習の取り組み方アンケート」の効果検証を定期的に行い、主体的・対話的・深い学びになるような魅力的な発問や課題を設定し、子どもが「やりたい」と意欲的に取り組めるよう意識し、子どもたちのやる気を引き出せるよう授業改善を継続していきます。また、ICTを用いた指導方法の実践交流と情報共有も継続していきます。

【児童質問紙より】

これからも維持していきたい項目

- 先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う。
- 将来の夢や目標を持っている。
- 人が困っているときは、進んで助ける。
- 学校に行くのは楽しい。
- 国語・算数・英語の勉強は大切である。
- 理科の勉強は好きである。
- 自然の中や日常生活、理科の授業において、理科に関する疑問を持ち、問題を見いだす。

☆上記の項目は、大阪府や全国と比べて概ね割合が高く、肯定的意見がおおよそ9割以上であるいくつかの例です。これは、授業づくりが工夫されていることが効果的であることが伺えます。また、「人が困っているときは、進んで助ける。」という心の表れは、道徳的実践の充実・向上を図っていることが伺えます。さらに、「学校にいる大人がよいところを認めてくれる。」という安心感が、学習意欲にもつながっているのではないのでしょうか。将来の夢や目標については、さらに児童一人ひとりのキャリア発達を支援していきます。

今後の課題と考えられる項目

- ▲ゲームやスマホにかける時間が多い児童がいる。
- ▲タブレットなどのICT機器を学校の授業以外で勉強のために使う。
- ▲自分で計画を立てて家庭学習している。

☆携帯電話やゲームなどが身のまわりにあふれている社会では、自分で時間管理できる力をつけることがますます重要となってきました。朝食は毎日食べていると回答する児童が多いので、ICT環境についても学校と家庭で協力して子どもたちの環境を守りながら自己管理できる力を育みたいと思います。また、「毎日の音読の宿題について」にあるように、音読には脳の活性化を促したり、集中力を高めたりする効果があります。音読の効果を最大限に生かして、よりよい家庭学習習慣が身につくためのきっかけづくりや取り組みも継続していきます。

【おわりに】

学習面においては、全国、大阪府を若干下回る問題や領域がありました。質問紙の内容からはよい傾向がたくさん見受けられました。学校として、全国学力・学習状況調査の結果を受け、本校の教育目標『子どもの笑顔と豊かな学びを育てる学校～思いやりのある子、よく考える子、たくましい子～』を達成すべく、より丁寧に教育活動をすすめていきます。引き続き保護者のみなさまのご理解、ご協力をお願いします。